

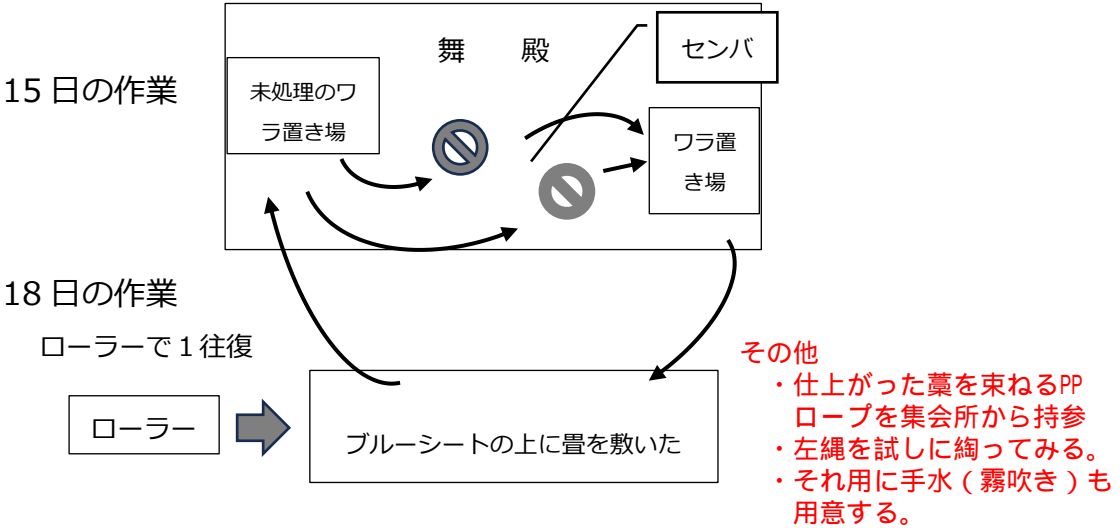
参考資料- 7

8日9時～11時半
出席者：成清、中田（猛）、末國（富）末國（征）、末國（栄）、中田（真）、 R6 年 9 月 8 日打合せ
杉本、竹本、吉崎、坊田、松本
説明者：末国（栄）

令和 6 年秋季例大祭 注連縄作りの作業内容と分担

1. 注連縄用ワラのほぐし作業

総担当	末国栄之助		
日時	R6 年 9 月 15 日（日）午前 8 時～		
場所	志賀神社 舞殿の前広場		
参加者	大坪常会（本当屋）全員 飲み物用意（担当： ）		
道具類	名 称	準備担当	備考
	ワラ運搬用軽トラ（2 台）	成清、末国（富）	補助者：松本、木本 14 日（土）16 時に変更する。
	千歯・センバ（2 台）	末国（栄）	
	1 トンローラー、ユニック車	坊田	
	タイヤ（2 個）	末国（栄）	
	一輪車（2 台）	末国（富）1 台	
作業順	<p>[15 日の作業]</p> <p>①集合した後、</p> <ul style="list-style-type: none">・末国（栄）より作業内容を説明・ブルーシート、センバを設置 <p>②ワラをセンバに掛け、タイヤで根元をそろえワラ置き場に</p> <p>[18 日の作業] 雨で屋外作業を順延</p> <p>①ブルーシートを敷き舞殿の畳を 8 枚（2×4）敷く。</p> <p>②ワラをワラ置き場から運び、適量を畳の上に並べる。</p> <p>③ローラー掛け（往復 1 回）</p> <p>④ワラを舞殿のブルーシート上の置き場に並べていく。</p> <p>⑤ ②～④を繰り返す。</p> <p>⑥終わったら、ワラをブルーシートで被い、作業後を清掃する。</p> <p>⑦ワラを保管していた駅組倉庫の掃除</p> <p>ブルーシートは神社保管の物を使用</p>		



2. 注連縄ない作業

総担当	末国栄之助		
日時	R6 年 9 月 22 日（日）午前 8 時～		
場所	志賀神社 舞殿の前広場	成清 60本を集会所冷蔵庫で保管して持参する。	
参加者	中の村当屋 全員 飲み物用意（担当：当屋総代）		
お祓い	作業終了後に 常会員 御供え（清酒 2 升 、イリコ） 2 合瓶で良い。		
準備物	注連縄（機械縄）150m、祓い殿注連縄（手縄）26m		
道具類	名 称	準備担当	備考
	毛切りハサミ、カマ	各自	
	押切り（2 台）	水除、末国（富）	
	脚立（3m 級、1 脚）	坊田	
	巻尺（50m、5m 各 1）	末国（栄）	
	ロープ（大注連縄用）	坊田	
	PP ロープ（1 巻）		在庫の物を使う。
	荷札（30 枚程度）、ゴミ袋、マジックペン	末国（栄）	
	協力を確認した。		
師匠	注連縄作り：貢 通総 房作り：末国征男		
作業順	1. 本当屋役員は 7 時半からブルーシート敷などの準備 2. 8 時に当屋要員が集合した後、挨拶と作業の説明 3. 大注連縄は、舞殿で 2 組（1 組 6～7 名）が師匠の指導下で作る。 ④. 小注連縄は、舞殿前広場で場所別の長さに切り荷札を付ける。 （取付け場所、長さ、本数を記した荷札を必要数だけ用意） 5. 完成した注連縄の毛切り ⑥. 完成した注連縄を祓い殿にて保管する。 ⑦. 全員でお祓いを受ける。		

4 , 6 , 7 は大坪常会だけで実施することにした。

参考 1 : 注連縄の種類と本数

[大注連縄]

	設置場所		長さ	青竹切 (4 本)	鈴 (計 14 個)	御幣
大注連縄	祓い殿	内部	3.5m(毛切り)	無	無	○
	祓い殿	入口	6.0m(毛切り)	無	総 3 個	○
	白鳥神社	入口	4.0m(毛切り)	4.0m	総 2 個	○
	鳥居	門柱(石)	5.0m	5.0m	総 3 個	○
	鳥居	木作	5.0m	5.0m	総 3 個	○
	鳥居	祭礼原	5.5m	5.5m	総 3 個	○
	青竹は真竹を使って取り付けること					
5mm縄	鈴用 1 m左縄		14×3=42 本			
	端結び用		2 (両端) ×6 本分 = 12 本 計 54 本 1 (片方だけ) 6 48			

[小注連縄]

場所	長さ	本数	青竹	場所	長さ	本数	青竹
祓い殿	26m	1		踏切前	5m	1	
神輿倉	8m	1		駅舎前	6m	1	
若宮社	6m	1		大船橋	3.5m	2	4
湯沸し場	8m	1	4	落合橋	3.5m	2	4
白鳥社	5m	1		金の御幣(集会所)	6m	2	2
舞殿前	8m	1		金の御幣(中)	6m		
杉の木	3.5m	2		神輿置き場	15m	1	4
杉の木間	5m	1		祭礼原出口	6m	1	2
ガヤの木	3.5m	2		御幣櫃	4m	1	
山伏墓	1.5m	1	2				
相撲取り墓	1.5m	1	2	計		24	24

参考 2 : 注連縄の取付け場所

志賀神社境内図に記載

参考 3 : 紙垂について

必要数はすべて宮司が作成し、幟立て時に併せて小注連縄に取り付ける。

紙垂の取付は、巻き取ると破れるので注連縄を張った後が望ましい。

連絡事項

1 中の村当屋寄りの出席者について

- 神社総代：奥平正泰（志和池） 上里貴文（岡城） 樋川克宏（瀬谷）
- 保存会：野崎浩昭（会長）、前川 渉（事務局）
大倉弘成（六神儀頭領）、：河野直樹（獅子舞頭領）
品川公治（神輿担頭領）

以上中の村氏子以外 8 名出席

2 役割奉仕者について（8 月 27 日現在）

- 木舟常会長から連絡有り
 - ・ 神前御料具運搬奉仕者：長岡憲治さん
- 玉岡秀利さんから連絡有り
 - ・ 〆胴担ぎ：玉岡秀利さん(木舟)（〆胴打ち奉仕者、渡邊陸斗君の〆胴担ぎ）
- 長岡慎也さんから連絡有り
 - ・ 楽打ち：長岡幸也さん→辞退 〆胴を打診したがダメ
(本人がクラブ活動を優先したい)
- 駅組 多田信彦さんから連絡有り
 - ・ 巫女の舞：森政結衣（ゆい）（多田信彦 孫）

3 参考

市場：8 月 27 日の常会で決める
駅組：9 月 5 日に常会を開いて決める

4 楽打ち奉仕者の募集 添付資料あり

志和池、岡城、瀬谷へ募集をかけようと思いますので資料を作ってみました。
ご確認ください。
もし、これでよければ早いうちに地区総代へ配布したいと思います。